

令和4年11月 1日

入間市立東町小学校長

お話朝会(11月)

今月のお話朝会は学校だよりと連携し、宇宙について話しました。低学年には少し難しい話でしたが、「宇宙人はいます」という私の言葉から、一気に集中できたように思います。運動会や朝会では学校全体で運動場に集まる機会が増えています。年度当初は「全体で集まった時には静かに話を聞く」ということがうまくできない場面がありましたが、回数を重ねるごとに話の聞き方が上手になってきています。子どもたちの成長はすばらしいです。

では、今月のお話です。

おはようございます。11月に入り、2学期も半分が過ぎました。運動会や市内体育祭、遠足などの大きな行事も終わり、これからはしっかりと学習に取り組んでください。

さて今日は宇宙についてお話します。皆さんは宇宙人はいると思いますか？校長先生は絶対にいると思います。こういうドラゴンボールに出てくる宇宙人を想像すると思います。でも、校長先生の考える宇宙人はそればかりではありません。宇宙生命体と言ったらいいのでしょうか？こういう生物も宇宙人だと考えます。私がなぜ宇宙人がいると思うのかお話しします。

まず、私たちが住んでいる地球です。地球には海があって、空気があって、陸地がある。こうした環境が生命を生んだと考えられています。地球は太陽の周りをまわっています。地球には兄弟がいて、それぞれ太陽に近い順に水星、金星、地球、火星、木星、土星、天王星、海王星です。この地球の兄弟の星を惑星といいます。この中で生命がいるのは、今は地球だけとなっています。しかし、地球以外の惑星にも水があれば生物がいるかもしれません。生き物がいるかどうか確認するには、どうしたらいいと思いますか？答えは簡単で、行ってみればいいんです。人間はもう50年前に月に行っています。そこには生き物のいる痕跡は見つかりませんでした。ではほかの星はどうでしょうか？お隣の火星には、アメリカのロケットが到着して、今も火星の調査を行っています。ここでもまだ生き物の痕跡は見つかっていません。わが日本も頑張りますよ。惑星探査機という機械を使って、小惑星の「イトカワ」や「リュウグウ」といった2つの星から石や砂を地球に持ち帰っています。月以外の惑星の砂を持っているのは、日本だけです。この小惑星からは、実は大発見があったんです。生き物はいなかったんですけど、生き物に必要な水が見つかりました。それと、生き物はタンパク質という物質でできているのですが、そのもとになるアミノ酸が見つかったのです。つまり、地球以外にも生き物がいる可能性が大きくなったのです。惑星の中にも地球以外に生き物がいるかもしれないわけです。そうすると、宇宙には数えきれないほどの星があります。この数えきれない星の中に生き物がいるのが地球だけと考えるほうが、おかしいとは思いませんか？だから校長先生は宇宙人はいると思うわけです。

さて、これから宇宙はどうやって開発されるのでしょうか。アメリカは火星に人間を送ろうとしています。有人飛行というものです。中国は月に宇宙基地を作る計画を立てています。日本はどうでしょうか？日本はまず宇宙にいる生物や生物がいた跡を探すために、木星の月や遠いところにある小惑星に惑星探査機を飛ばそうとしています。木星には水をたくさん持ったエウロパという月があります。エウロパの表面は固い氷におおわれているそうですが、その地下にはたくさん水があると考えられています。それから太陽系の外にはどんな宇宙が広がっているのでしょうか。今はまだ人類は太陽系の外に出ることはできません。しかし、人類は光の速さで飛ぶことができるロケットについて、まじめに考えています。なかなか開発は進みませんが、もし光の速さで飛ぶことができたら、太陽系の外側にある太陽までわずか4年でいきます。どんな星なんでしょうね。校長先生が生きているうちに見られたら、うれしいです。

今日は宇宙についてのお話でした。これで校長先生のお話を終わりにします。

私は生き物や科学が大好きなのでどうしてもこういう話が多くなりますが、子どもたちが大人になってもこういう話に興味を持ち、宇宙飛行士や研究者になってくれたらうれしいと思います。